

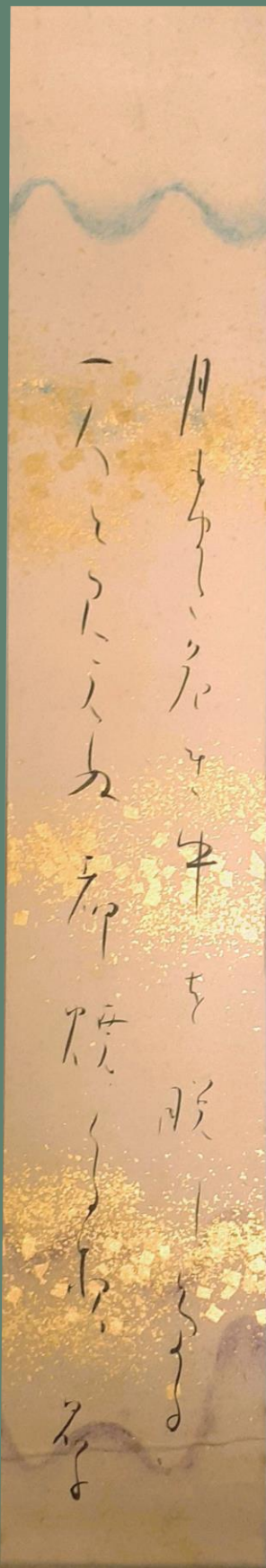
関東大震災100年

企画展

災害を

のりこえる

晶子の意志



与謝野晶子自筆短冊(月もまた)
堺市博物館蔵

令和5年5月20日(土) — 6月11日(日)

時間: 9時~18時(最終入館17時30分)

会場: さかい利晶の杜 企画展示室

観覧料: 大人300円 高校生200円 中学生以下無料

※「千利休茶の湯館」「与謝野晶子記念館」の観覧券で企画展示室にもご入場いただけます。

主催: 堺市

協力: 与謝野晶子倶楽部

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底したうえで実施します。

関東大震災で被災した与謝野晶子が想いを詠んだ歌「月もまた危き中を脱したる一人とみえぬ都焼くる夜」の短冊(自筆)です。夜空に浮かぶ月を眺め、自分と同じく大震災の猛火から逃れ出たような親近感を持った気持ちを詠んだものです。

SAKAI
RISHO
NO
MORI

さかい利晶の杜

Sakai Plaza of Rikyu and Akiko

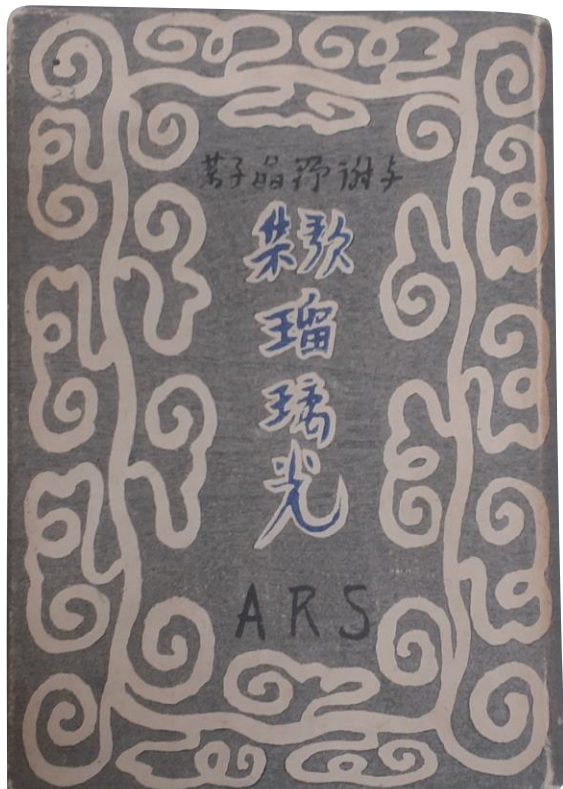
災害をのりこえる晶子の意志

本年は、大正12(1923)年9月1日に関東大震災が発生してから100年となります。44歳の与謝野晶子はこの地震による火災で、長年書き溜めた完成寸前の貴重な『源氏物語』現代語訳の下書き原稿を失うという被災体験をしています。しかし、晶子はその強い意志の力で、再び執筆に取り組み、生涯をかけて刊行を成し遂げています。

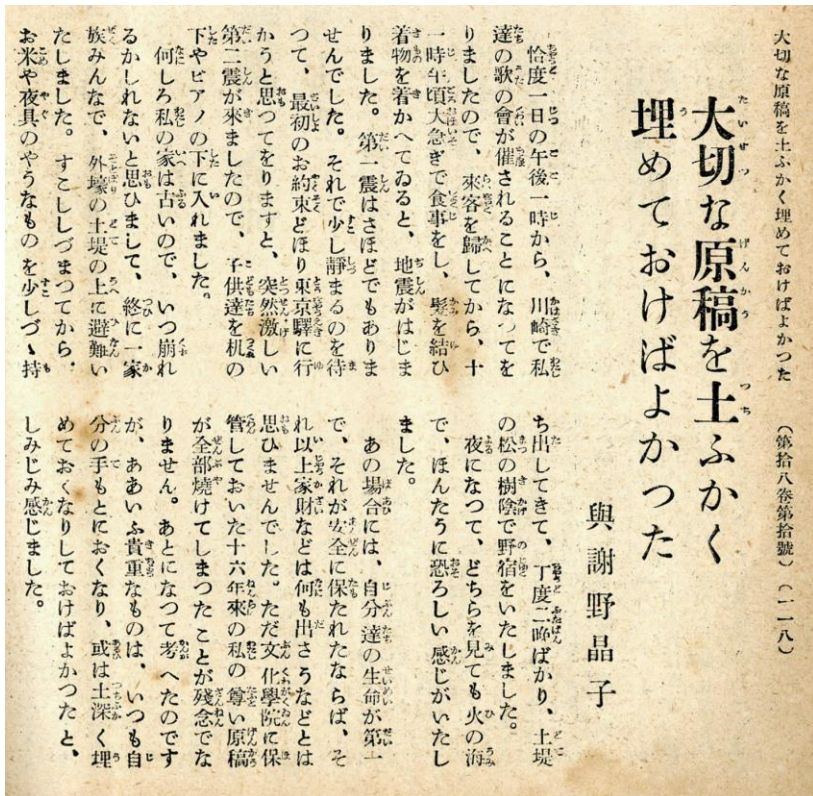
本展では、未曾有の災害に直面した晶子が残した言葉に触れ、災害を乗り越える意志と精神を学んでいくとともに、自然災害に対する意識を持つことを目標に開催するものです。



吉田初三郎「関東震災全地域鳥瞰図絵」(印刷図・部分) 大正13(1924)年9月 堺市博物館蔵



与謝野晶子歌集
『瑠璃光』表紙(山本鼎による装幀) 大正14(1925)年 堺市博物館蔵



与謝野晶子「大切な原稿を土ふかく埋めておけばよかった」
(雑誌『婦人世界』第18巻第10号、1923年10月)

関連イベント

学芸員による展示解説

日時: 6月4日(日)14時～ 20分程度
参加費: 無料(展示観覧券が必要です)
申込: 不要、直接企画展示室へ

同時期開催

晶子フォーラム2023

日程: 令和5年5月27日(土) 時間: 14時30分～16時30分
会場: 堺市総合福祉会館 大ホール
内容: 【第1部】14時30分～合唱「君死にたまふことなかれ」
【第2部】15時15分～講演「大正時代における与謝野晶子ーデモクラシーとメディアー」(講師 松村由利子氏)
主催・お問い合わせ先: 与謝野晶子倶楽部

ギャラリー展「アートで彩る晶子の姿」

会期: 令和5年5月23日(火)～6月4日(日)
※華道は5月27日(土)・28日(日)のみ
会場: さかい利晶の杜 企画展示室・茶室広間

SAKAI RISHO NO MORI
さかい利晶の杜
Sakai Plaza of Rikyu and Akiko

〒590-0958
堺市堺区宿院町西2丁1-1
電話: 072-260-4386 FAX: 072-260-4725
<https://www.sakai-rishonomori.com>



千利休茶の湯館 茶の湯体験施設 与謝野晶子記念館 観光案内展示室